

済生会新潟県央基幹病院
オプトアウト様式

① 作成日	(西暦) 2025 年 11 月 28 日
②研究名	当院における病院救急車を活用した施設間搬送の現状
③情報の利用目的及び利用方法 (他の機関へ提供される場合は その他方法を含む)	当院は、地域医療再編により周辺 5 病院の機能の集約化と連携・役割分担のもと 2024 年 3 月に 400 床の二次救急を担う急性期病院として開院しました。開院後、救急搬送件数は約 6,500 件/年、救急車応需率 85%/月程度で推移しています。救急外来受診後に地域の連携保険医療機関との連携・役割分担のために、患者の状態に合わせて病院救急車を活用した早期の転院を進めています。この早期転院による連携の取り組みは、開院直後から始めており、2025 年 4 月からは、救急患者連携搬送料の算定も行えるようになりました。 今回、開院後からの病院救急車を活用した活動実績をまとめ、医療再編によって集約化された救急医療体制における施設間搬送の現状を報告することを目的とした情報の利用を行います。
④利用し、または提供 する情報の項目	調査は電子カルテを用いて、研究対象期間中に救急外来を受診後に連携保険医療機関 8 病院および他機関へ転院搬送された方となります。 調査項目は以下の内容となります。 ・患者様の属性・来院手段・主病名・転院元・転院理由・転院日・転院手段 ・転院先・救急患者連携搬送料算定の有無 調査内容については、匿名性を担保いたします。
⑤対象者及び対象期間	対象は 2024 年 3 月 1 月～2026 年 3 月 31 日までに当院救急外来を受診後に当院から連携保険医療機関 8 機関および他機関へ転院搬送された患者様の全数を調査します。
⑥研究責任者及び問い合わせ先	研究責任者 済生会新潟県央基幹病院救急科医師/新田正和 問い合わせ先；研究担当者 済生会新潟県央基幹病院看護部 4B ER・HCU/八鳥公男 済生会新潟県央基幹病院 救急集中治療災害部門/永井裕朗 同上/志田和貴 問い合わせ先（平日 9 時から 17 時） 代表番号 0256－47－4700 より救急外来まで

もし、研究や情報の提供に同意をいただけない場合には、お手数ですが問い合わせ先までご連絡ください。なお、同意の有無が今後の治療などに影響することはございません。